

2020年度 指導計画表

授業科目	服装史	学年	全学年
担当教員・講師	森 治子	単位時間	30
使用する教本・テキスト	プリント・DVD	授業方法	講義

指導目標

古代から近現代までの日本の衣生活について学び、時代ごとの服飾表現の特徴や着こなし、流行について理解を深める。

郷土の染色技法や衣生活についての知識を学ぶ。

伝統芸能の映像鑑賞を通して、舞台衣裳のデザインの特性と着装表現について学ぶ。

美術作品の鑑賞を通して、時代ごとの着付けや美意識について理解を深める。

到達目標

各時代の服飾の特徴を理解するとともに、服飾材料や染織についての知識を身につけ、デザインの特徴と着装形態の変化、美意識について理解する。

服飾材料や染織についての知識を身につける。

伝統芸能における衣裳について理解を深める。

指導計画表

指導項目	指導内容
1 古代から平安時代	・古代から平安時代の衣生活と染織技法
2 鎌倉から江戸時代	・鎌倉から江戸時代の衣生活と染織技法
3 明治から昭和初期	・明治から昭和初期の衣生活と染織
4 小袖のデザインと和菓子のデザイン	・服飾と和菓子のデザインの比較、検討
5 小袖の変遷	・近代の小袖のデザインと着装について ・小袖からきものへ、近現代の和装表現について ・小袖のデザインの変遷について
6 伝統芸能の衣裳	・歌舞伎の衣裳と化粧について ・文楽の衣裳と人形について ・能、文楽の衣裳について ・郷土芸能の衣裳について ・舞妓の着付けと化粧について
7 郷土の衣生活と染織	・緋のデザインと技法について ・絞り染めのデザインと技法について ・戦時下の衣生活、モンペ、野良着について ・アイヌの伝統衣裳とデザインについて ・奄美大島の染織と衣生活について
8 呉服屋と服飾に関わる職人たち	・江戸時代の服飾品の流通と職人の仕事について
9 ジャポニスムのデザイン	・ジャポニスムの流行と服飾デザインについて ・19世紀末から20世紀初頭のジャポニスムの流行について
10 アール・ヌーヴォーとアール・デコのデザ	・19世紀から20世紀初頭の服飾デザインの流行について
11 昭和初期のモダニズム	・絵画から近現代の和装について考える。 小村雪岱、鍋木清方、小倉遊亀 他
12 琳派のデザイン	・本阿弥光悦、俵屋宗達、尾形光琳について

評価方法

期末に行う記述式試験・実技試験と授業への出席率・平素の学習姿勢によって行う。

成績評価の基準は、出席率20%、試験、授業態度80%。